

Lesson 17 「源氏と鎌倉幕府」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

【源平の争乱】

①治承・寿永の内乱

- 1179 (治承3) **平清盛**が〔1 平清盛〕を幽閉する
→ 孫の**安德天皇**を即位させる
- 1180〔2 平清盛〕(後白河法皇の皇子)と**源頼政**が、
平氏を倒そうと挙兵するも → 失敗
- 以仁王の「**令旨**」をうけ、
伊豆：〔3 平清盛〕、木曾：〔4 平清盛〕ら、
源氏勢力が平氏打倒に向けて挙兵
=〔5 平清盛・源頼朝の内乱〕のはじまり
- 平清盛は一時、摂津の〔6 平清盛〕に遷都(=大輪田泊を外港とする)
→ 貴族勢力・寺社勢力の十分な支持を得られず、京都にもどる(遷都)

②平氏の滅亡

- 1183(寿永2) 源義仲が京都を制圧、**平氏は安德天皇を奉じて西国に落ちる**
- 後白河法皇は、後鳥羽天皇をたてて政権を維持 → 義仲と頼朝を対抗させる
- 源頼朝**は、弟である〔7 源頼朝〕を平氏追討軍の大將に
→ 源義仲の軍勢を破った〔8 一の谷の戦い〕の後、
平氏を追って**一の谷の戦い・屋島の戦い**で破る
- 1185(文治元)〔9 屋島の戦い〕で平氏を滅ぼす

【鎌倉幕府の創設】

- 源頼朝は〔10 鎌倉幕府の創設〕を拠点に東国を制圧
… 武士たちは頼朝(=鎌倉殿)と主従関係を結び、〔11 鎌倉幕府の創設〕となる
- 1180 **侍所** 設置
…〔12 侍所〕が初代別当就任 → 「**御家人の統率**」
- 1183 **寿永二年十月宣旨** … 後白河法皇は、源頼朝に対し「**東国支配権**」を与える
- 1184 **公文所**(のち**政所**) 設置
…〔13 公文所〕が初代別当就任 → 「**政務を担当**」
- 1184 **問注所** 設置
…〔14 問注所〕が初代執事就任 → 「**訴訟事務を担当**」

【守護と地頭の設置】

- 平氏滅亡後、後白河法皇は源義経に頼朝追討を命じる
→ 失敗… 源義経は武蔵坊弁慶を伴い逃避行 → 平泉：奥州藤原氏の庇護を受ける
- 源頼朝は義経追討のため西国の各国に〔15 守護と地頭の設置〕(国地頭)を設置
→〔16 **反別五升**〕と、田地の支配権を認めさせる
- 翌年、兵糧米徴収廃止 →〔17 惣追捕使〕(**惣追捕使**)と称せられる
- 守護の権限** … その国の御家人の統率、国内の治安維持、
=〔18 守護の権限〕… **大番催促、謀反人・殺人逮捕**
- 平家没官領に御家人を地頭として補任、西国の各地に地頭を置く → 「**荘郷地頭**」
- 年貢徴収などの荘園・公領の直接経営ができた地頭は、西国においては少数

【奥州藤原氏の滅亡】

- 平氏滅亡後も、東北では〔19 奥州藤原氏の滅亡〕が勢力を維持
→ 1187(文治3) 藤原秀衡の死
→ 1189(文治5) 家督を継いだ藤原泰衡は、源頼朝(鎌倉)からの圧力に屈して、保護下の源義経を討つ…〔20 **の戦い**〕
※同年、源義経をかくまったことを理由に源頼朝から攻められ、奥州藤原氏滅亡
- 奥州攻撃に際し、東国だけでなく西国の武士も動員 → 御家人制度が拡大整備される
- 1190(建久元) 源頼朝の上洛 →〔21 源頼朝の上洛〕に任じられるが
すぐに辞退
- 1192**(建久3) 後白河法皇の死後、源頼朝が〔22 鎌倉幕府の成立〕に任じられ、名実ともに「**鎌倉幕府**」が成立する

【公家政権と武家政権】

①御恩と奉公

- 幕府は鎌倉殿頼朝に臣従を誓った東国御家人たちを中心とする武家政権
- 将軍と御家人の関係 →〔23 御恩と奉公〕
- 御恩**とは…〔24 御恩〕(所領の支配を保証)と
〔25 奉公〕(新しい所領を給与)で地頭に任命
- 奉公**とは…〔26 奉公〕(御恩と奉公)などの「軍役」
※のちの異国警固番役も同種の「軍役」
- 〔27 御恩と奉公〕などの「**経済的負担**」
- 西国の御家人たちも制度に組み込まれていく
- 鎌倉幕府の特徴… **東国を基盤として全国の軍事・警察権を握った武家政権**

②朝廷と荘園公領制

- 鎌倉時代の朝廷 → 国司を任命し国衙の行政、荘園整理を試みる、悪僧/神人の統制
- 有力貴族や大寺社は、荘園領主として膨大な荘園群を領有し、強大な勢力を誇る
- 源頼朝も有力な荘園領主であったといえる
→ 知行国主として〔29 源頼朝〕を支配
→ 平家没官領の荘園である〔30 源頼朝〕を支配